

土浦ケーブルテレビ株式会社 放送番組審議会 議事録

2018年度の放送番組審議会は、2019年2月20日(水)に土浦ケーブルテレビで開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席

楠	康	夫	様	坂	本	榮	様
羽	成	健	之	松	田	裕	雄
宮	本	幸	男				

(50音順)

ご欠席

安藤 真理子 様

審議会会長選任

会長に坂本様を選任した。

事業者側から現況報告及びJ:COMチャンネルの取り組みにつき、報告があった。

【審議 質疑応答】(坂本会長による進行)

■番組放送について

(委員) 『デイリーニュースダイジェスト』は3月から生放送が週2回になるとのことだが、全国のJ:COMでも放送しているのか。

(事業者) 『デイリーニュース』はJ:COMの共通番組で平日に生放送をしている。土浦エリアは週1回、金曜日にダイジェストを生放送しているが、3月からは週2回に生放送を増やし、防災・防犯情報を中心に、来年度中にはデイリー化を目指している。

■番組制作について

(委員) 広報番組『マイシティつちうら』をはじめ、自主制作番組においても市民に親しまれる番組作りを続けてほしい。番組視聴者からの反響などは分かるのか。

(事業者) 数値的データは不明、取材対象者からは番組を良く見ていると直接言われる。ケーブルテレビのコミュニティチャンネルの番組視聴者は、高齢者や地域にアンテナを張っている方が多く、土浦市を中心に 13 市町村が放送エリアとなっているので、近隣のグルメ情報の反響は大きい。さらに視聴者を増やすには、番組プロモーション強化が課題で、若い人向けにはSNS発信やアプリ配信も行っているが、高齢者の方にもっと番組を見てもらうために、インターネット活用ではなくチラシも継続している。

■番組コンテンツについて

(委員) 地元のコンテンツを一層充実させて、視聴者層を広げて行ってほしい。

初めての会議参加で、番組コンテンツのターゲットが分からないと番組評価ができない。

地元のスポーツコンテンツの放送は、子供の教育にも良いのでは。

最近、バドミントンの競技人口が増加しているので是非取り上げてほしい。

高齢者向けに健康プログラムなども良いのではないか。

■ネーミングライツ取得について

(委員) 野球場のJ:COMスタジアムに続き、陸上競技場のJ:COM フィールドというネーミングライツ取得には驚いたが、企業としての反響はどうなのか。

(事業者) 野球場のJ:COMスタジアムを含め、宣伝効果は大変大きい。

夏の高校野球大会期間中には、新聞に球場名が必ず表記された。

陸上競技場でのイベントには 7 万人の来場者があり、大変効果的だった。

5. 閉会（事務局）

各委員からの貴重なご意見、ご要望を今後の番組制作に活かしていく所存である。

以上